

# なんぶ 社会福祉だより

63

南部町社会福祉協議会 本 所 〒683-0351 法勝寺331-1 TEL 0859-66-2900  
 会見支所 〒683-0227 浅井938 TEL 0859-64-3515



## 令和2年度いきいきサロン研修会開催

今回は3密を避けるため、会場をプラザ西伯と、いこい荘で分散して行いました。



グループ発表をして頂きました



情報交換会の一コマ

9月2日(水)と5日(土)、「いきいきサロン関係者研修会」を開催しました。社協として活動助成を行っている町内の70の「いきいきサロン」に対して、今年度は世界的な新型コロナウイルス感染予防のため、4月から5月のサロン活動については開催自粛のお願いをさせて頂きました。

計画通りに「いきいきサロン」が実施できないコロナ禍において、各サロンでは6月以降、様々な工夫をしながら運営に尽力しておられます。

今回は、感染症対策や社協の支援体制などの説明の後、グループに分かれて情報交換をして頂きました。参加された皆さんが情報交換されたことで、集落の特性に合った個々のサロンの活動内容の様子などを具体的に聞くことができ、参加して良かったと多数の方から感想を頂きました。

今年度は実施回数や形式にとらわれず、できる形で実施して頂ければと思います。今後もより安心・安全にサロン活動を継続していただけるようご支援させて頂きます。

2ページへ続きます

# いきいきサロン

## アンケート実施

- アルコールで消毒しています
- 3密にならないようにしている
- 屋外活動をしています
- 会食を止めました
- お弁当で対応しています
- 食器は使い捨てを使用しています
- 吸い物や漬物等の持ち込みを止めました
- 花を持参して訪問し、嬉しそうにされていました
- 公民館での実施を見合わせ、塗り絵や体操のチラシを配布しています
- この集まりでみんなの心が和むならやりがいもある。みんなで頑張りたい
- なかなか開催できず「さみしかった」と言われた。やはり大切な役目と感じました

コロナ禍において6月に代表者の皆さんへアンケートを実施しました。頂いた内容を一部ご紹介します。



### ラダーゲッター



## 新しいレクリエーション用品を購入！

この度、赤い羽根共同募金助成金で購入しました。ひもの両端に付いたボールを投げてオレンジの得点バーに引っ掛けます。得点ゲットできた時は楽しくて気持ちいいですよ。本体はプラスチック製で軽いです。組み立ても簡単◎

この他にもたくさんあります。毎回アルコール消毒しておりますのでどうぞ安心してご利用下さい。まずはお気軽にご相談ください。

## 車両貸し出しについて

当面の間、新型コロナウイルス感染予防のため定員を減少させて対応いたします。ご理解頂きますようよろしくお願い致します。詳しくは、社協までお問合せください。



マイクロバス

定員：15名（運転手付き）



ハイエース

定員：5名（運転手付き）  
定員：6名（運転手なし）



キャラバン

定員：7名  
（運転手なし、車いす席含む）

# 令和2年度 鳥取県社会福祉協議会会長表彰者

本会が推薦し受賞された皆様を紹介させていただきます。  
永年にわたる福祉活動に対しまして、心から感謝申し上げます。

受賞おめでとうございます

## 《鳥取県社会福祉協議会会長表彰》

### 社会福祉施設・団体職員功労 (敬称略)

氏名	所属
足井 壮志	伯耆の国 南部居宅介護支援事業所
藤下 琴美	伯耆の国 会見サービスセンターいこい荘
上村 美枝	伯耆の国 会見サービスセンターいこい荘

例年「県民総合福祉大会」において、鳥取県社会福祉協議会会長表彰授賞式が開催されますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会が中止となり、大会冊子等を被表彰者にお渡しする書面開催となりました。

### ボランティア功労 (個人) (敬称略)

氏名	所属
雑賀 藤重	会見配達ボランティア
林原 光男	西伯配達ボランティア
頼田 規和美	会見調理ボランティアグループ
遠藤 優彦	南部町赤十字奉仕団
長尾 るり子	地域福祉委員
齋鹿 伸二	地域福祉委員
増田 厚子	地域福祉委員
守屋 啓子	地域福祉委員



## 子育て応援!



南部町社会福祉協議会では子育て応援!として下記の事業を実施しています。

### 子ども服リユース

「捨てるにはまだきれいでもったいない」  
「貰い手があれば譲りたい」  
「子ども用品が高くて困っている」・・・など  
お子さんのサイズが合わなくなった服や  
チャイルドシート、マタニティ用品などを  
これから使いたい家庭に譲っていただく事業  
を行っています。  
譲渡会を開催する際はお知らせします。

### 制服リユース

中学校を卒業されて必要なくなった  
(必要なくなる)制服をリユースしま  
しょう!  
譲りたい方・譲ってほしい方、まずは  
下記にお電話・メールください。

南部町社会福祉協議会 ☎ 66-2900



担当者【吉元】メール  
honsoho05@nanbushakyo.com

※PCからのメールを受信できる  
設定の上、送信してください。



# 赤い羽根共同募金

**「赤い羽根共同募金運動」が今年も始まりました!!**

**募集期間：10月1日～12月31日**

**今年度の南部町の目標額 2,850,000円**

**ご協力をお願いします**

この募金のうち約70%の金額が南部町の地域福祉活動費として還ってきます。



## 助成事業の紹介（一例）

### 高姫公民館

【事業名】歳末たすけあい世代間交流事業  
【ありがとうメッセージ】

普段集まることの少ない地域の方が餅つきを通して交流できたことは、地域の絆を深めるよい機会になりました。また、高齢者への餅の配布により、地域で安全、安心して暮らしていただく為の安否確認ができました。



### 南部町老人クラブ連合会

【事業名】教養文化推進事業

【事業内容とありがとうメッセージ】

高齢者の知識向上及び趣味の披露など親睦・生きがいがづくり。

①江戸古典落語「春雨や落雷」

②笑による健康づくり

③カラオケ・詩吟・合唱・日本舞踊等

☆これからますます高齢化がすすむ中、老人の知識向上・親睦・生きがいがづくりが出来ました。ありがとうございました。



### 宮前1区

【事業名】世代間交流事業

【事業内容】

日頃のサークル活動を通じて作られた作品や、各自趣味で作られた作品の展示を公民館でするとともに、講演会などを催し、集落間の交流を図り、地域の活性化に結びつけた。また、様々な世代が交わり、餅つき、ぶた汁作りなどと一緒にいき、当日参加者の交流を図るとともに、参加されなかった方・高齢者の方には個々に配布を行った。



### 御内谷区

【事業名】世代間交流事業

【事業内容とありがとうメッセージ】

秋の公民館祭で杵と臼を使った餅つきやソバ打ち体験を行い、世代間の交流を通じて安心・安全な福祉の集落づくりを目指した。なおできあがった餅やソバは75歳以上の高齢者世帯及び独居高齢者等の世帯に配布した。

☆この事業は地域住民のコミュニティ活動の充実・強化確立に寄与が期待できるので、来年以降も継続して実施したい。



### 武信区

【事業名】体操を通じた地域づくり事業

【事業内容とありがとうメッセージ】

町が推奨する「いきいき100歳体操」を助成事業で購入した椅子を使用し、毎週木曜日に武信公民館で実施することで、健康づくりと参加者同士のコミュニケーションを図っている。

☆腰痛持ちでしたが、100歳体操を続けるうちに痛みも軽減して、居間からの移動も休憩なく出来るようになりました。



### 南部町社会福祉協議会

【事業名】夏休みボランティア体験事業

【ありがとうメッセージ】

学校生活の中では、体験できないことを体験し、参加した児童・生徒は多くのことを感じ学ぶことが出来ました。この体験をきっかけにいろいろな場面で子ども達の活動が地域で見られることを楽しみにしています。ありがとうございました。



## 令和3年度 助成事業 募集中

**受付期間：R2 8月20日(木)～R2 12月25日(金)**

### 義援金募集

○ 令和2年7月豪雨災害義援金 [令和2年12月28日(月)まで]

「南部町役場 法勝寺庁舎」・「健康福祉センターすこやか」・「総合福祉センターしあわせ」・「総合福祉センターいこい荘」に募金箱を設置しております。

なお、高額の方・領収証が必要な方は南部町共同募金委員会(南部町社会福祉協議会)までお問い合わせください。



各集落にアルコール  
消毒液を配りました

「感染症にも強い  
住民主体のまちづくり」





いくらの郷

検索 



地域共生社会実現拠点施設

# いくらの郷

平成30年5月に入蔵地区に開設した「いくらの郷」。ブログにアップされている様々な活動の様子を一部紹介します。詳しくはブログにアクセスしてみてください。

見学や利用については南部町社会福祉協議会までお気軽にご相談ください。

S君は米子市在住で、3月下旬から7月上旬までいくらの郷へ通い始めました。初めは簡単な軽作業からスタートしましたが、終わりの頃は重労働も難くこなし、7月上旬には元の体調に戻って卒業していきました。卒業してからも、得意のイノシシの解体などで顔を見せてくれる好青年です。

## ●S君の研修レポート (一部抜粋)

私が「いくらの郷」でお世話になったのは、まだ寒さ厳しい日も多い3月初めから、真夏の暑さを感じる7月頭までの期間でした。いくらの郷では農林業や大工仕事などの屋外作業、農産品加工や道具整備などの屋内作業、禅、ヨガ・エネルギー療法による心身の健康増進、講話や地域の方々との交流など、本当に多種多様な経験をさせていただきました。

多くはこれまで全く経験したことはなかったものですが、坂本所長さん・山野理事長さんの熱いご指導、スーパーボランティアの青砥さん・森岡さんのご支援、指導員の勝部さん・西岡さん・津田さん・牧田さんの毎日のサポートのおかげで、徐々に慣れることができ、楽しんで研修に通わせていただき、名残り惜しくも無事に卒業して復職につなげることができました。

そして、多くの人にとってその日常生活の中でなかなか経験し難い、貴重で稀有な体験をさせていただいた日々は、自分が想像すらしていなかった数々の変化をもたらしてくれました。

ボランティアが駆け付けてくれて、大助かりです。J君は若いツリーハウスを作った事もあり、随分と手馴れています。高い处でも平気です。



ツリーハウス



米作り

いくらの郷の前の田には、月見餅の苗を植えました。何年も前に、千葉県より種もみを取り寄せて、種継して植えているのですが、粘りがあって美味しいので評判です。作りやすく、コシヒカリより1週間程度おそく収穫します。S君もすっかり杵(えぶり)使いが堂に入って、田の均しをとっています。



林業体験

## ●Y君の感想

いくらの郷で楽しかった事は、チェーンソーを使って木を伐り出した事です。今までのこぎりを使ったことはあっても、チェーンソーを使った事がなく不安でしたが、安全な使い方や周囲の確認・自分の安全確保の仕方を教えてもらい、初めて一人で木を倒した時は、緊張からの解放と予想した所に倒れた嬉しさで、もの凄い達成感を感じることができました。

地域の方々も、とても暖かく元気な方々で、畑作業や梅の収穫の時に自分の方が先に疲れてしまいそうでした。梅の加工の時に皆でした作業も時間を忘れるくらい、とても楽しく貴重な経験です。

座禅体験では、初めての感覚でなかなか言い表せないのも、ぜひ体験して頂きたいです。

いくらの郷スタッフの方々も、とても素晴らしい方たちで、自然と自分から話しかけたり、笑い話をしたり等、感謝しても足りないくらいです。

## ●S君の感想

いくらの郷で今までやったことの無い刈払い機やチェーンソーの使い方を体験しました。いくらの郷の皆さんのお蔭で助けられながら毎日通っています。

3か月通って少しずつ体力がついてきたと実感しています。1番印象に残っている作業は薪割りです。きれいに割れた時は気持ちよかったです。初めは経験したことの無い作業で不安が大きかったのですが、今は充実しています。



草刈作業

いくらの郷特産、「カリカリ梅」製造の手伝いもしました。おばさんたちの会話に入っていくのに苦労しましたが、方言があっても6割くらいしか分かりませんが、笑顔と笑い声で、楽しいひと時を過ごすことができました。



地域の方との交流

# ありがとうございました



(令和2年9月10日受付まで)

頂戴しました寄付金は、地域福祉委員の活動費・いきいきサロン活動助成金・地域振興協議会への助成金・福祉バス運営経費・配食サービス事業など福祉活動の財源として活用させていただいています。

## 香典返し

(敬称は省略させていただきました。)

寄付者名	集落名	故人名	金額
松本 智久	北方	光枝	金一封
雑賀 雅子	高姫	岩田 新	金一封
北野 義浩	東西町2区	敏春	50,000
大西 理彦	三本木	幸枝	金一封
板倉 良一	三本木	豊子	金一封
梅原 伸	御内谷	府美恵	金一封
宮倉 英二	境	剛	金一封
岡田 充生	高姫	欣子	金一封
川本 優	落合上	重義	金一封
中井 義宏	御内谷	民子	金一封
岡田 律子	宮前二	陸奥	金一封

寄付者名	集落名	故人名	金額
岡田 智之	宮前二	峯子	金一封
福場 和子	常清	皎	金一封
小谷 宏一郎	落合上	三樹之助	金一封
今川 幸司	倭	幸枝	金一封
成田 庸子	原	哲郎	金一封
長尾 滋	落合上	由美子	金一封
北尾 勝志	原	美登枝	金一封

## 見舞い返し

寄付者名	集落名	金額
岡田 照子	高姫	金一封

◎ご寄付の際に、広報紙への掲載を同意された方のみ載せています。

◎寄付金額等の記載につきましては、寄付者ご本人の意思によるものです。

## 編集後記

例年に比べ沢山のイベントや教室が中止となった今年の夏休み。小学生のお子さんがおられるご家庭は、外出などもなかなか出来ない中、毎日のお昼ご飯に宿題のチェック、作品作りや自由研究の手伝いと忙しく過ごされていたでしょう。我が家も2人の小学生を何かに参加させたく、色々探したなかで、公民館主催の夏休み短歌教室というものを見つけた。4年生になる長男は無類の歴史好きで、もちろん与謝野晶子や正岡子規なども知っていたので絶対に行かせたいと思った。当日、行きは少し面倒くさそうに鉛筆とノートだけを抱えて出て行ったが、帰ってくるのと、楽しかったと笑顔を見せ教室での様子を色々教えてくれた。もともと短歌とは日々の暮らしの中で感じた事などを、五七五七七を使い表現するもので、特に現代短歌と呼ばれるものは日常の些細な出来事を詠んだものが多くある。感じたことを言葉のリズムに合わせて表現できるのが楽しさのひとつだろう。では、最後に息子の作品を一首

「この間 家族で行った 三徳山  
辛かったけど 楽しかったよ」

(Y・I)